

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------|----|--------|-----------|
| ○事業所名 | こどもプラス鍋島教室 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和6年11月1日 | | ～ | 令和7年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) | 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和6年11月1日 | | ～ | 令和7年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年2月20日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・柳澤運動プロジェクトを用いた運動遊び・静かな活動 | ・年齢に応じて難易度を変える ・年齢が小さい児童の場合みんなで一緒に活動できる動きを入れる。 | ・職員の運動療育のスキルアップ |
| 2 | ・季節を感じながら楽しめるイベント | ・季節に応じたイベントを行ったり、教室で季節の食べ物をみんなで調理し様々な体験、経験を積み興味関心を持ちイベントに参加してもらう。 | ・他教室の意見を取り入れ今までとは違うイベントを行っていく |
| 3 | ・児童同士の関り (学校ではあまりできない縦社会の経験) | ・職員があまり口出しをせず児童同士の関りを見守る | ・運動遊びの中でもペアでの活動や集団活動を取り入れ楽しく関われるきっかけをつくっていく |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1 | 毎日の運動遊びや静かな活動を全員一緒に行うことが難しかったり、時間がたくさん取れない。 | ・高学年になってくると下校時間が遅くなる ・宿題の時間が必要 | ・早い下校の児童と遅い下校の児童の活動時間を分けてスケジュールを組む ・宿題の時間を分かりやすくスケジュールに組み込み切り替えがスムーズにできるように工夫する |
| 2 | 療育スペースの使い方 | ・活動の時間を分けることでそれぞれの活動を同じスペースですることが難しい | ・時間を決めて活動を行う ・スペースを分ける |
| 3 | イベントでの外出を全員で出かけることが難しい時がある | ・その日で児童の体調や情緒の変化などで外出が難しい時がある | ・児童に対し先の見通しがしやすいようなスケジュールの見直しをする ・難しい時は職員と教室で待機の形をとり、待機になった場合の児童の支援を決めておく |